

時々この集会で紹介される本の中に、『日本一短い手紙』という本があります。

『日本一短い母への手紙』『日本一短い父への手紙』『日本一短い兄への手紙』、色々シリーズがありますが、『日本一短い手紙 教師編』。昔の恩人の先生に感謝の気持ちを込めた手紙の、コンテスト上位のものが書籍化されて出ています。その中に、こういうのがありました。「人にした事は自分に返って来る。先生、あなたの教えは本当でした。昔、つるっばげと言ってごめんなさい。」

恐らく作者は今、つるっばげなんでしょう。

このシリーズが、毎年途切れる事なくヒットしている訳は、理解するのに説明が要らないから分かり易い。そして短い。難解で長い文章を、ずっと読んでいく根気がなくなってきましたよね。

聖書のメッセージも説明抜きでズバツと分かるような、しかも短い箇所がいいんじゃないかと思って、今日は、解説なしにバツと分かるイエス様の言葉の箇所を1箇所見たいと思います。それは『山上の垂訓』まだ自分を信じていない人ではなく、既にキリストを救い主と信じている弟子たちに語った言葉ですが、私たち全ての人に適応できると思います。

マタイ 6:25-34

- 25 ですから、わたし(イエス・キリスト)はあなたがた(キリストの弟子たち)に言います。何を食べようか何を飲もうかと、自分のいのちのことで心配したり、何を着ようかと、自分のからだのことで心配したりするのはやめなさい。いのちは食べ物以上のもの、からだは着る物以上のものではありませんか。
- 26 空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。それでも、あなたがたの天の父は養ってくださいます。あなたがたはその鳥よりも、ずっと価値があるではありませんか。
- 27 あなたがたのうちだれが、心配したからといって、少しでも自分のいのちを延ばすことができるでしょうか。
- 28 なぜ着る物のことで心配するのですか。野の花がどうして育つのか、よく考えなさい。働きもせず、紡ぎもしません。
- 29 しかし、わたしはあなたがたに言います。栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどにも装っていませんでした。
- 30 今日あっても明日は炉に投げ込まれる野の草さえ、神はこのように装ってくださるのなら、あなたがたには、もっと良くしてくださらないのでしょうか。信仰の薄い人たちよ。
- 31 ですから、何を食べようか、何を飲もうか、何を着ようかと言って、心配しなくてよいのです。
- 32 これらのものはすべて、異邦人が切に求めているものです。あなたがたにこれらのものすべてが必要であることは、あなたがたの天の父が知っておられます。
- 33 まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。
- 34 ですから、明日のことまで心配しなくてよいのです。明日のことは明日が心配します。苦労はその日その日に十分あります。

要するに、キリストは弟子たちに「心配するのはやめなさい」と。人間は毎日、何か心配しています。皆さんも「洗濯物、大丈夫かな」と思いながら、今聞いているんじゃないですか？

なぜ心配するなど言っているのか？ 心配しても解決にはならないから。心配そのものの中に、問題解決の力はありません。戦略を立てるのはOK。ただ思い煩って、どうなるかどうなるかと心配し続けると、心身共にすり減ってしまいます。

「なぜ心配するのですか？ 私たちの面倒を見ておられる神様の存在を、見失っているからではないですか？」と言っているのです。

少し前にNHKで睡眠に関する番組をやっていました。現代人は鬱病に罹る人が多い。メンタルがすごく脆くなっている。或いは、～症候群（シンドローム）という名前の病気に罹る人が多い。原因が分からない病気には、この名前を付けます。医者も分からない奇病というか、原因不明の色々な病気が出て来ていて、その要因の1つに「睡眠不足があるのでは」と言われているのです。

睡眠は非常に大事で、睡眠中に、脳も身体も爪も髪の毛も全部、伸びたり・リフレッシュ・回復する。だからと言って、今寝ないで下さい。今は起きて下さい。今寝たら、今晚眠れませんよ。

睡眠がどんなに大事か言われているけど、眠れない人が多い。今日本で一番多く販売されている薬は、頭痛薬でも風邪薬でもなく睡眠導入剤。睡眠導入剤は量が増えていくそうです。初めは1錠で眠れていたのに、どんどん増えていって依存が始まってしまう。寝なければならぬと思うと余計眠れない。

番組の中で、平均睡眠時間4時間の男性が出て来て、何時に寝ても朝6時にパッと起きてしまうんです。本人もクタクタですが、脳だけは起きています。彼を光と音を完全に遮断した特殊な部屋に入れて、どうなるか実験しました。どうなったか？ 昏々と眠って、昼になっても起きない。それで、熟睡には外部刺激を遮断する事が非常に大事だと。

ところが、現代人は眠る直前に脳刺激スイッチオンの物を見ている。スマホ。スマホやデバイス・パソコンの画面からブルーレイという光が出ていて、これが視神経を通して、脳を興奮状態にする。身体は休んでいるのに脳は興奮。それで眠れない。「私、そんなんいくら見ても寝れるわ。」そういう人、いいですね。

2週間アメリカ講演旅行に行って来ました。ニューヨーク州・オレゴン州・ワシントン州・その上はカナダ。アメリカ西海岸を南から上へ、約20回講演をさせて頂き、どこもたくさんの日本人が来て下さいました。どの州に行っても、私に異口同音に言われた2つの言葉があるんです。

1つは「高原さん、YouTubeで見るとより若いですね。」それほどでも…あります。でも、そう言って下さったのは皆、私よりも年上の方でした。私より若い人で「高原さん、若いですね」と言った人は1人もいません。自分を基準にしているから「若いですね」となるんですね。

もう1つは「寝る前にYouTubeを見ている」と。最後まで見終える前に寝落ちする。「あなたの話を聞いていると、スーッと眠れます」と言われた時の複雑な気持ち。話し手として「あんたの話、眠い」と言われると、すごく気になります。「時間忘れるくらい集中しました。」「目がらんらんと輝きました。」これは褒め言葉。「あなたのおかげで熟睡できました。」帰ろかな。

でも、なぜ眠れるのかよく聞いてみると、「神がおられる事を思い出させてくれるからだ」と。「私を見守り、生かし、抱きしめて下さっている命の支え主・作者である大きな神様が生かして下さい」と分かれると、睡眠導入剤を飲まなくても、安心できて休めるんです。

そういう事だったら、せいぜいご利用下さいませ。導入剤飲むよりYouTube。

時々興奮する人は、別の人を見て。きっと安らかに眠れると思います。

なぜ神経が興奮するのか？ 自分以外に頼るものがない。隙を見せたらすぐにやられてしまう。頼れるのは自分の腕1本。私がしっかり覚醒していないと騙される。ダメになる。

隙を見せないのは大事ですが、自分の命を支えるのが自分という人はしんどいです。

アメリカでボーイング社の工場を見学しました。ジャンボ旅客機4機をラインで組み立てている世界最大の工場。東京ドーム、何十個だったか。そこに扉が4枚あって、それぞれに絵が描いてあります。世界最大の絵。扉だけでフットボールのコートくらい。とにかく大きい。解説して下さった方が素晴らしい、謙遜なサイトウさん。解説が良かった理由は日本語だったから。英語で言われたら全く分かりません。時々Seven Three Seven (737) とか聞ける。「あ、Seven Four Seven (747) て言うた!」それだけやん。それを懇切丁寧に解説して下さいました。

そのボーイング社の飛行機に乗って、日本とアメリカを往復。片道10-12時間です。乗ってしばらくは、ドリンクやビデオ映画・ゲームなど、飽きないようにエンタテインメントを準備してくれてますが、やがて皆疲れて寝ます。両サイド、ノイジーないびきの人の場合、大変ですよ。両側からドルビーシステムみたいな、中には往復いびき。「掃除機か!お前は」みたいな。ずっとヘッドホン付けて寝る羽目になるけど、そんなに熟睡している人を見ると、なんか幸せそうだなと。「よだれ、拭いて差し上げようかしら。」

でもよく考えたら、高度1万m以上を飛んで、何で眠れるんですか? もしハンモックで寝るとして、高度15mの所にハンモックがあるとしたら眠れますか? 航空機の床がガラスだったら、メチャ怖い。1万mで、下に何も無い所で、いびきとよだれと歯ぎしりと寝言。

なぜ眠れるかという、自分が寝ている間、起きて操縦してくれるパイロットがいるから。パイロットも寝てたら、そら怖いわ。私が休んでいる間も、起きて働き続けている人がいるから、私は休めるんですよ。パイロットは2人、機長と副機長。彼らは必ず別々の機内食を食べるそうです。同じ物を食べて2人とも食中毒になったら大変だから。中華と和食、パスタと肉、それぞれ別のメニュー。「どちらがいいのを取るんですか?」と聞いたら、多分機長でしょうと。食べ物の恨みは怖いから。安全のためにあらゆる手を打っているから、大丈夫だと休む事ができるのです。

聖書を見ると「イスラエルの神は、イスラエルのために寝ずの番をした」と書いてあります。私たちが意識がある時もない時も、気を失っている時も、睡眠中の時も、思い煩っている時も、喜んでいる時も、神は疲れ知らずで、いつも私たちを生かし、祝福し、良い人生に導きたいと願い、全知全能の力で介入して下さいます。そういう方と親子の関係に入っている弟子たちに対して「どうして心配するの?」「自分で自分を支える事はできないでしょ。天の父が愛して支えて下さっているんですよ」と。

どんな力持ちでも、自分で自分を持ち上げれる人いないでしょう。(両手を挙上して)私、今病院でこればかりやってます。五十肩のリハビリ。なんぼ引っ張ってもろても、ストレッチにはなりますが「浮いた!」て、そんな奴はおらんで。自分以外の人に引っ張り上げてもらう事はできます。

「自分以外の人で、本当に愛し支えて下さっている方がいる。その創造主なる神様がおられる事を見失っているの、心配事が尽きないのではないですか?」と聖書は語るんです。

ところで心配事は、究極的には死に繋がっているの、出て来ると思います。

マタイ 6:25 ですから、わたしはあなたがたに言います。何を食べようか何を飲もうかと、自分のいのちのことで心配したり、何を着ようかと、自分のからだのことで心配したりするのはやめなさい。いのちは食べ物以上のもの、からだは着る物以上のものではありませんか。

どうして何を食べるか飲むかを心配するのか? 食べず飲まずにいたら、最後死ぬから。

どうして着る物を心配するのか？ 着る物がなかったら病気になって、治らずに死んでしまうから。

どうして人間関係で心配するのか？ 人間関係こじれてリストラされたら、給料もらえなくて、食べれなくなって、最後死んでしまうから。

個別に色んな心配事があるけど、結果どうなる、どうなる…とずっとやっていくと、最終的に死の可能性があるので心配するのではないかと。死の解決を持っていないので、心配事が次々出て来るのではないかと思います。

実は、死について明確に語っているのは聖書だけです。聖書は「神様から離れるという罪の結果、1度死ぬだけではなく、死後に裁きを受ける事が定まっています、神様がいない世界に堕ちてしまう。そこに行つて欲しくないの、神様に立ち返ってもらいたい」と語っているのです。

アインシュタイン (1879-1955)。20世紀最大の天才、殆ど髪型を気にしていない科学者。

こんな写真(舌出し)有名。アインシュタインがやったらチャーミング。普通の人やったらアホちゃう？ 真に賢い人は、何やっても伝説になる。アインは1つという意味。シュタインは石。アインシュタインを直訳したら「ひとついし」さん。「いっせき」さん。

彼はナチスに追われてアメリカに亡命し、亡くなるまでプリンストン研究所で研究します。

世界のアインシュタインだから、あちこちから呼ばれて講演旅行に出る事が多かったのですが、日常生活の細々した事は気にしません。靴下、右と左が違っていても気にしない。この点は、私、アインシュタインと似てるかな…。ちょっとイケそうな感じかな…。セーター、後ろ前でも裏でも全然気にしない。この点も、アインシュタインと大分共通点あるかなと。

この人、物をよく失くす。ある時、講演旅行でアメリカの長距離列車に乗っていて、番号の席に座っているか車掌が点検します。「チケット拝見します。」

アインシュタインの所に来た時、失くしてるんです。この人。気の毒になるくらいアタフタして探すけど、失くして。そのうろたえている姿を見て、車掌が「もういいです。あなたほど偉大で有名な人が不正乗車するとは考えられないから、もう座って下さい。」

次の車両に行こうとしてフツと振り向いたら、アインシュタインが床にへばりついて、シートの裏まで見てチケットを捜している。すぐに駆け寄って「あなたがアインシュタインだと知っているから、もう捜さなくていいです。」そしたら「私がアインシュタインだという事は、私も知ってる」って言うたんですって。「だけど、切符失くしたんで、どこで降りるか分からへん。」目的地どこやったか忘れてはるの。この人。最寄り駅どこか覚えてない。「君、分かるか？」って、分かる訳ないやん。

相対性理論「 $E=mc^2$ 」とか発見した人ですが、そんな明晰な頭脳を持っていても、どこに行つていいか、降りる駅が分からないと不安になるんです。「どうしたらええんや?!」とうろたえて。

ところで、皆さんが死んだら、魂はどこに行くんですか？ 自分の命がどこに向かっているか、答えをお持ちですか？ それを知らないなら、不安になって、心配なのは当然です。

ここで「心配しなくていいよ」と語られた相手は、既にイエス・キリストを救い主として信じている人。なので、「心配しなくていい。あなたの死後の事は、神が全部解決して下さったので大丈夫だ」と言われているのです。だけど、そうでない人は心配する必要があります。心配しなければならない。

マタイ 6:34 ですから、明日のことまで心配しなくてよいのです。明日のことは明日が心配します。

これは信者に向かって言われた言葉です。明日のこととは、翌日の事というよりも未来の事。

明日のことまで心配しなくてよいというのは、将来に対して人生設計するなという事ではありません。未来について戦略を持つとか、考えるなど言ってるんじゃない。思い煩うなど言っているんです。

明日を考えた時、明日の延長線上、明日の明日のずっと、人生最後の日としての明日は何か？ 死の日です。この日は、残念ながら全ての人に来る。死の日を迎えない人は誰もいない。

必ず来るものに対して、前もって準備をしておく事は絶対に大事です。

「必ず来る最悪の事に対して準備ができていますので、あなた方は心配しなくても良い」と弟子たちに言っているのであって、まだ準備ができていない、その救いをもらっていない人は大いに心配すべきなのです。では天の父は、私たちの死の問題をどのように解決して下さったのか？

昔紹介した事がありますが、童話を1つ紹介したいと思います。『ジャックと豆の木』。大人向けのもの。子供向けの童話だと思っている本は、大抵大人向けです。それを分かり易くしているから、話がすごく簡略化されているのですが、実は原点というか、大人向けのは深くて・寓話で、人生に大きなヒントを与えてくれるものが多いんです。

母1人・息子1人の親子が崖の谷底に住んでいるのですが、ほんとに貧しくて寂しい親子。

少年ジャックが赤ちゃんの時に、お父さんが誰かに殺され、未亡人になったお母さんが苦闘して生活していて、食べる物も着る物もなくなって行くのですが、彼らには唯一の財産がありました。それは雌牛。ミルクが採れる雌牛のボッシー。

彼らはパンのクズ切れを食べていたのですが、それすらも手に入らなくなって、このままでは餓死するのではとなった時、お母さんが決心して「ジャック、雌牛を市場で売って、お金に変えて来て。」ボッシーは唯一の友人だし、ほんとに売りたいじゃなかったけど、お母さんの言葉なので、ジャックは忠実に市場に行きます。「お別れだなあ」と言いながら。

そしたら、おじいさんが現れて「どこに行くのかね?」「市場です。」今までの経緯を話したら「そうか。大変だったなあ。その牛はわしがもらい受けよう。ただし金はない。」「いや、それはダメです。お金がなかったら、お母さんも僕も餓死してしまう。」「お金よりもっと良いものをあげよう。ここに魔法の豆を持っている。これを蒔いたら、お金なんかより、もっと良いものが実る。これと交換しよう。』

「えーっ」と思うのですが、老人がとても同情的というか真面目そうで、ほんとに哀れだと心配してくれているのが分かったので、交換して豆だけ持って帰りました。皆さんの息子さんがそうしたらどうします? ジャックのお母さんは「何て困った事してくれたの! もう立ってる事もできない!」とベッドにバタンと倒れて、悲しみの中で寝込んでしまいました。ジャックは「僕がした事でお母さんをこんなに悲しませてしまった。こんなもの!」と豆を外に投げて、自分もふて寝。

翌朝庭を見たら、豆から1マイル、1.6 kmくらい、天にも届くような木が伸びてる。少年というのは高い物を見ると登りたくなるんです。この中にも少年的な人いるでしょ。家内、木を見るとすぐ登ろうとする。

どんどん登って行くと、崖の谷底に住んでいたけど、切り立った崖の上が見えて「見える、見える」とますます登って行ったら、そこに妖精が現れます。「さあ、あの崖の頂上をご覧。お城のような物が見えるでしょう。あそこに金の卵を産む鶏と、人の言葉を話すオルゴールがあるから、行って取って来なさい。」「そんな事できない。僕はどんなに貧しくても人の物に手を付ける事はして来なかったし、お母さんからそれだけはするな、と躰けられてるから。」

その時妖精が「おや、知らないのかい？ 昔あのお城に気高い騎士と奥さんと息子がいた。幸せなお城に、ある日モンスターが現れて、騎士は一晩と一日戦ったけど、遂に殺されてしまった。恐れた未亡人と少年は、すぐにそこを離れて崖の谷底に住んだ。1つだけ持って行った財産は雌牛で、名前はボッシー。」
「えっ?!」「ジャック、モンスターと戦った騎士はあなたの父です。あの城の本当の主はあなたです。金の卵もそれを産む鶏も、人の言葉を話すオルゴールも父が残した遺産です。あなたには、それを受け取る権利がある。さあ、行きなさい。」

私はすごく感動しました。これを読みながらキリストの事を考えたのです。キリストは全く罪がない方なので死ぬ必要がないのに、十字架にかかって1度死んで下さいました。なぜ死んで下さったんでしょう？ 罪というモンスターと戦って、私の罪の身代わりとなり、罰を受けるために、十字架の上で死んで下さったのです。あなたの罪の償いをご自分の命で成し遂げ、そのために自ら命を捨てて下さったのです。そして、3日目によみがえられました。

このキリストの償いのゆえに、全ての罪人に凄まじい遺産が残されたのです。その遺産とは、完全な罪の赦しと永遠の天国の国籍。そして、そこに住むための永遠のいのちです。
神がキリストに於いて、どんなに素晴らしい救いを準備して下さったとしても、それを知らなかったら受け取りようがないでしょう。

イエス・キリストはユダヤ人だけにではなく、私たち日本人のためにも十字架にかかって、死んで、よみがえって下さったのです。それによってもたらされた完全な罪の赦し・天国の国籍・永遠のいのち・神の子供としての立場・たくさんの祝福、既に完成しているそれらを得た人が弟子です。
それをもらっている弟子たちに、「こんなにスゴイものをもらっているのに、なんで心配するん?」と言っている箇所なんです。

だけど、この中には、まだキリストの弟子になっていない方もおられるのではないですか？
あなたのためにも、キリストは死の解決のために命を捨てて下さった。
そして、3日目によみがえって下さいました。この方を自分の救い主として受け入れて下さい。
そのあとは、死んでよみがえった方が、あなたをエスコートして下さいます。

全知全能の神であるキリストと一緒に人生を歩むって、素晴らしいですよ。
色んな問題が次から次に起こります。でも、私がクリスチャンになって、ホントに痛快な事の1つは、困った事の後には、神が生きておられるのを必ず経験できるという事なんです。
これは詳しい事は言えないんですが、ホンマにいいですよ。
是非、このキリストを信じて頂きたいと思います。心からお勧めします。



- * 動画は YouTube で「HCA 東住吉キリスト集会」検索。ぜひ見て下さい。
- * ラジオ番組「聖書と福音」(15分) も是非どうぞ。YouTube もあります。

動画筆記 : Rumi